

第5回策定委員会等における主な修正点

【参考1】

本編

No.	意見元	頁	意見等	修正内容
1	町	6 7	P 6・7の国の観光動向について、最新（令和6年）の数値の追加はできないか。	以下のグラフを更新。 6頁： ・日本人国内宿泊旅行及び日帰り旅行延べ人数の推移 ・日本人国内旅行消費額の推移 7頁： ・訪日外国人旅行者数の推移 ・訪日外国人旅行者による消費額の推移
2	策定委員会	10 11 12 20	県のデータについて、今日現在では令和6年度の数値がまだ出ていないが、今月末には発表される予定のため、追加をお願いしたい。	令和6年 鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～により、令和6年の値をグラフに追記。
3	策定委員会	35	ペルソナについて、現在の記載に即した観光客を対象にすると捉えられかねない。 また、適切なターゲット層なのか精査をお願いしたい。 具体的過ぎるペルソナ分析になっているため、「個人年収が比較的高いご夫婦」、「本町を複数回来訪」、「おもてなしサービスの行き届いた宿へ宿泊」、などのように文言や表現を変えることはいかがか。	コラム文章に1段落追加し、以下の文を追記。 なお、ここで例として示すペルソナ像は、誘客対象として絞り込む意図のものではありません。今後の観光施策を進めるうえで「どのような旅行者に、どのような体験価値を提供していくことが望ましいか」などを検討するための具体的な消費者像を設定する場合の一例として示しているものです。 また、ペルソナ例の文章を修正。 ・個人年収が1000万円以上の比較的高い高齢者男性とそのパートナー ・本町へは登山を目的によく来訪しており、5回目以上の来訪経験を有するリピーターで旅館におもてなしサービスの行き届いた宿へ宿泊することが多い。
4	策定委員会	40 53 58 76	「観光まちづくり人材の育成・強化」について、これらに加えて人材確保というのが問題であるため、「確保」という文字を追加願います。	第4章および第5章にて、施策名を以下に修正。 「基本施策7-2 観光まちづくり人材の育成・確保・強化」
5	策定委員会	41 49 72～73	基本施策4-3「高付加価値旅行への対応」について、登山道整備やビーチクリーンへの参加を屋久島における高付加価値化として加えていただきたいです。消費する観光ではなく、観光客自ら屋久島を整備する、というリジェネラティブな取組として追加していただきたいと思えます。	ビーチクリーンについては、基本施策1-1の主な取組「環境教育プログラム」に包含することが良いと思慮。委員会中にも触れたように、現状取り組まれているため、41頁・基本方針1-1の下にコラムを挿入し、既存取組として紹介。 コラム：自然資源の保全・再生に関する取組（画像あり） 旅行者の登山道整備は、基本施策1-1の「みちなおし」が該当。基本施策4-3に再掲する。ロードマップへも再掲。（49, 72～73ページ）

No.	意見元	頁	意見等	修正内容
6	策定委員会	54 78 79	観光DXについて、キャッシュレス化、チケットレス化を追加いただきたいです。 バス利用について、利用者側にとっては旧札でしか両替ができないなどの不便な実態をうかがっています。また、バス事業者側にとっても徴収した代金を両替するのにさらに費用を要するという事です。利用者・事業者双方へのメリットとしても、行政にも協力いただきながらDX化の検討を進めてもらいたいと思います。	基本施策7-3の「観光DXの推進」において、「 観光関連産業におけるDX・キャッシュレス化の推進 」を追記。併せて、ロードマップにも追記。
7	策定委員会	54	基本施策7-4「情報発信の強化」となっていますが、発信する情報はデータ活用のもとで行われるため、データ分析の強化を文言追加いただきたいです。	基本施策7-4において、「 適切なデータ分析に基づく 」との文言追記。
8	策定委員会	55	観光危機管理について、屋久島町の取組を追加してはどうか。昨年台風時に情報の発信が行われていた。その情報をもとに、県もすぐに状況が把握ができた。県内でもなかなか見られない取組であったため、追加してはどうか。	コラムの表題を「観光危機管理計画の策定及び訓練開催」から「 観光危機管理計画の実践 」に更新し、昨年の台風時における情報発信の実践実績を追記。 本町においても、令和6年8月の台風10号で山岳部の道路などが被災した際には、町、県、林野庁、環境省、交通事業者等の関係機関で緊密な情報交換を行い、山岳部の県道、町道、登山道の交通情報を適切に整理し、町のホームページにおいて日本語と英語の併記による細やかな情報発信に務めるなど、本町を訪れる多くの旅行者の安心と安全に配慮した観光地づくりに取り組んでいます。
9	策定委員会	62	入込者数について、観光基本計画であり、町外入込客数を示していますが、前回計画では町内も含めた入込者数を示していたため、だいぶ減ってしまうように見えます。空港の滑走路拡張も控える中で、エアラインの方々が入込者数が一番大事な数字となるため、町民も含めた入込者数を併記いただきたいです。令和7年は町民が7万人ということだったので、町内7万+町外22万人、そしてプラスアルファの1万人で30万人を示されたい。20万人代から30万人代になることも大きな目標になると考える。	230,000人に修正。
10	策定委員会	62	初回訪問者の約40%が再訪意向を示しているのであれば、目標値も40%ではいかがか。	目標値を「 40% 」に修正。
11		63	町外入込者数の変更に伴って延べ宿泊者数を修正。 230,000人×3泊	690,000人泊に修正。

No.	意見元	頁	意見等	修正内容
12	策定委員会	(53) 77	基本施策7-2「観光まちづくり人材の育成・強化」の主な取組として、「確保」を追加した前提で、U/Iターンの促進、そして居住場所の確保、これらを追加いただきたいと思ひます。また、町内出身学生の観光業におけるインターンを実施し、町内の観光業で働きたい、という思ひを促したいと考えています。	まち・ひと・しごと総合戦略の中で協議された内容を、定例会で共有・議論し、U・J・Iターンについて検討する。 上記を踏まえ、基本施策7-2の主な取組「プラットフォームを通じた定例会開催による情報共有」で包含。また、既に定例会開催による横断的課題共有と共同プロジェクトの試行を位置付けているため、 追記はなし 。 基本施策7-2で教育について整理しているため、この中で包含する。 ロードマップ中期に Uターン喚起策としてインターン等の実施を追記
13	策定委員会	79	観光危機管理の推進について、観光客向けの食糧や毛布などの備蓄を追加いただきたいです。近隣で災害が起こった際の風評被害に対して、災害が起こっても観光客の皆様向けに食糧や毛布が準備されており、守られています、というのを示せるようにしたいと考えています。	観光危機管理に関する基礎啓発のロードマップ中期へ「 町内の避難所や事業所等において、地域防災計画に即した備蓄を促進 」を追記

概要版

No.	頁	修正内容
1	2	「04 主な現況」の掲載項目の精査等を実施し、以下のとおり修正 ① 掲載項目を6項目から3項目 ② グラフタイトルを追記 ③ グラフを見やすいよう拡大
2	2	「延べ宿泊者数」において、令和6年の鹿児島県の観光の動向の公表があったことから「R6年」を追記
3	3 4	「06 屋久島町観光の基本理念」において、文章中の「屋久島憲章」に注記を加え、併せてレイアウトを変更
4	6	基本方針2における「目標値」について、策定委員会の検討結果を踏まえて目標値の修正を行いました。 ① 屋久島への町外人込者数 : 220,000人 ⇒ 230,000人 ② 屋久島への訪問回数 : 35.0% ⇒ 40.0% ③ 屋久島地区延べ宿泊者数 : 660,000人泊 ⇒ 690,000人泊
5	6	「③ 屋久島地区延べ宿泊者数」において、令和6年の鹿児島県の観光の動向の公表があったことから、現状値を「 2024年暦年 」の値「 403,658人泊 」に修正